

⑥内科系 6 (総合診療科)

1. 研修目標

患者の背景にある家庭、社会、地域の状況や問題点を視野に入れ、臓器や疾患にとらわれることなく、患者ニーズに応じた幅広い全人的医療を各分野の専門医と連携して展開するのが総合診療の基本的な考え方である。この考え方を十分に理解し、コミュニケーション技能（医療面接技能）と身体診察技能を基本とした診療スタイルをマスターした上で、幅広い臨床技能、患者心理の理解能力、患者指導法、インフォームドコンセントや Evidence-Based Medicine の実践能力などを修得する。そして、患者をトータルに捉えることのできる全人的臨床医としての基礎づくりを目指す。

2. 研修指導体制

(1) 外来

外来研修では、教官の指導のもと研修医自らが医療面接と患者診察を行い、医師としての基本的態度、患者さんへの接し方、医療面接技能、基本的身体診察技能、診断へのプロセス、治療方針決定に至る一連の総合的外来診療技能を修得する。

(2) 入院

教官の指導のもと、入院患者の主治医となり実際の診療にあたることで胃内視鏡、心エコー検査、腹部エコー検査などを含む基本的臨床手技や診断・治療法などを修得する。また、新患紹介、病棟回診、カンファランス、退院報告、CPC での検討会などで症例の説明・呈示を行い、理解を深める。

(3) 研修医レクチャー

各種超音波診断法、上部消化管内視鏡、心電図、各種レントゲンの読影法、ACLS を中心とした救急蘇生法などをテーマにして、指導医による研修医レクチャーを定期的実施し、実践に直結した臨床技能を系統的に修得する。

3. 研修指導責任者 大園 恵幸

4. 研修内容

本プログラムの到達目標に掲載されている項目の修得を基本方針とし、各項目の修得度について指導教官とともに、定期的にチェックしながら研修を進める。特に、総合診療科ではコミュニケーション技能と身体診察技能の修得を基本研修項目とし、同時に各種臨床検査の実施・解釈・評価法を重点的に研修することで、疾患や臓器にとらわれない幅広い診療技能を修得することを目標とする。実際の治療に対しては、Evidence-Based Medicine の実践法や患者指導法について研修し、治療後のケアについても患者と家族の社会的な問題点を分析・理解し、地域医療連携を介し、資源を最大限に活用した QOL 重視のケアをマネジメントすることのできる能力（ポストホスピタルケアのマネジメント能力）の修得を目指す。

さらに、総合診療科で開設している動脈硬化外来、行動科学外来、睡眠障害外来、禁煙外来などの特殊外来についても、その基本的な考え方を理解した上で、臨床データの収集法から診断法や治療法、さらには、行動変容に基づく患者指導法（ライフスタイル療法）の修得を目指す。

5. 研修到達目標

5-1 行動目標

本プログラムの行動目標に掲載されている項目の修得を基本方針とし、各項目の修得度について指導教官とともに定期的にチェックしながら研修を進める。さらに、総合診療科の特殊外来についても下記の目標を参考にして研修を行い、その基礎を修得する。

(1) 動脈硬化外来

- ・問診と診察ができる。
- ・動脈硬化の程度の判定（診察法、加速度脈波・脈波伝搬速度・頸動脈エコーなど

による動脈硬化検査法の理解と実践) ができる。

- ・症例毎に動脈硬化の危険因子を抽出・分析し、的確な診療計画を作成できる。
- ・患者の行動変容に基づくライフスタイル療法を提示し実践できる。

(2) 行動科学外来

- ・行動科学の基礎的知識がある。
- ・患者心理に踏み込んだ医療面接をすることができる。
- ・患者の行動を評価し、行動変容を誘導することができる。

(3) 睡眠障害外来

- ・問診と診察ができる。
- ・睡眠・覚醒のリズムを解析し、睡眠障害の種類を判定できる。
- ・患者の行動変容を含めて的確なマウスピース、C P A P療法など治療計画を作成できる。

(4) 禁煙外来

- ・喫煙の一般的な有害性を説明できる。
- ・適切なニコチン代替療法を説明し、実施することができる。
- ・禁煙に向けた行動変容を誘導することができる。

5 - 2 経験目標

本プログラムの経験目標に掲載されている項目の修得を基本方針とし、各項目の経験の程度について指導教官とともに定期的にチェックしながら研修を進める。さらに、総合診療科で開設されている特殊診療については、その基礎修得を目指して下記項目【努力目標】を経験するよう努力する。

【必須目標】

- (1) 医療面接と全身の基本的身体診察ができる。
- (2) 医療記録 (POS に基づいた診療録の記載、診断書、処方箋など) の記載・作成と管理ができる。
- (3) 各種臨床検査の解釈ができる。
- (4) 尿・便検査、心電図などが実施できる。
- (5) 心臓と腹部の超音波検査と内視鏡検査が実施できる。
- (6) 基本的臨床 (診察、手技、注射法、穿刺法、皮膚縫合法など) について実施できる。
- (7) Evidence-Based Medicine の実践ができる。
- (8) ACLS をリーダーとして実施でき、BLS の指導ができる。
- (9) 適切な症例呈示ができる。
- (10) 疾患に応じた適切な患者・家族指導ができる。

【努力目標】

- (1) 動脈硬化性疾患の診断と治療
- (2) 行動科学を適用した治療
- (3) 睡眠の解析と治療
- (4) 禁煙指導

内科6(総合診療科)

	月	火	水	木	金
8:00	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
9:00	内視鏡検査 腹部超音波検査 (第2中診5F光学医 療診療部・総診外 来)	外来・病棟研修 (管理棟2F外来)	外来・病棟研修 (管理棟2F外来)	外来・病棟研修 (管理棟2F外来)	外来・病棟研修 (管理棟2F外来)
10:00					
11:00					
12:00					
13:00	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
14:00		ストレス外来、睡眠 障害外来 (管理棟2F外来)	禁煙外来 動脈硬化外来	新患紹介、症例カン ファ (新病棟13階東カン ファランス室)	禁煙外来、動脈硬化 外来 (管理棟2F外来)
15:00		病棟研修	病棟研修	回 診 (新病棟13F西病棟な ど)	病棟研修
16:00	外来新患 カンファランス 入院患者 カンファランス	外来新患 カンファランス 入院患者 カンファランス	外来新患 カンファランス 入院患者 カンファランス	病棟研修	外来新患 カンファランス 入院患者 カンファランス
17:00	病棟研修	病棟研修	病棟研修		行動科学外来 カンファランス
	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30
18:00				ミニレクチャー・医局 会 (国際交流会館5F医 局)	内科グランド・ラウン ド (各診療科持ち 回り担当)
19:00					
20:00					
21:00					